

「みえ探究フォーラム2025」に参加しました。

2月7日（土）に、三重県教育委員会が主催する「みえ探究フォーラム2025」（鈴鹿医療科学大学 千代崎キャンパス）に参加しました。「みえ探究フォーラム」は三重県内の中学生、高校生が参加する研究発表会で、参加生徒は口頭発表部門、ポスター発表部門に分かれ、それぞれの学校が日頃の研究の成果をプレゼン発表しました。

本校からは口頭発表部門に2組、ポスター発表部門に3組の合計5組が参加し、最優秀賞3本（口頭発表2、ポスター発表1）、優秀賞2本（ポスター発表2）という成績となりました。このうち、口頭発表部門地学分野で発表をした「地盤への酸性液体注入による液状化対策の可能性について」とポスター発表部門化学分野で発表した「ヒトの毛髪や爪を材料とするバイオプラスチックの創製」が、この日それぞれの部門で最も優秀だった班に送られる「教育長賞」を受賞しました。参加作品は以下の通りです。

<口頭発表部門>

- ・地盤への酸性液体注入による液状化対策の可能性について（地学分野）部門代表、全体会出場、最優秀賞、教育長賞
- ・民間薬へいさくの抗酸化作用について（生物分野）最優秀賞

<ポスター発表部門>

- ・ヒトの毛髪や爪を材料とするバイオプラスチックの創製（化学分野）部門代表、全体会出場、最優秀賞、教育長賞
- ・読めない文字の作り方について（その他分野）優秀賞
- ・接地面の材質と飛び石（物理分野）優秀賞

また、口頭発表部門やポスター部門において内容の深化が図られるような質問や意見を積極的に述べた生徒に対し授与される「Good Performance 賞」を本校の生徒2名が受賞しました。

どの班も、限られた時間、発表材料の中で、自分たちの研究内容・成果を正確に伝えられるよう創意工夫を凝らしており、聴衆の注意を引き付けるためのプレゼン技術は目を見張るものがありました。また、来場いただいた先生方、中高生の皆さんと質疑応答を通して積極的に意見交換をし、それぞれの研究を更に深めるためのヒントを得たようです。

さて、研究に決して終わりはありません。参加生徒たちはこの日に新たに得た知見をもとに研究内容を改善し、3月18日（火）午前中に本校で行われる「課題研究成果発表会」に向けて準備していきます。またSSHの全国発表に向けても頑張りましょう！

